

一般質問

6月9日、10日、13日の本会議で、25人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

通学路や公園遊具を点検し 子どもの安全を守れ



令和山桜会
池田 有也 議員



議員 下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷するという千葉県八街市で起きた痛ましい事故を受け、昨年9月に実施した通学路の合同点検の結果を踏まえた対応状況及び今後の対応方針について伺う。

市長 市道内17カ所のカーブミラーや歩道の防護柵、注意喚起の看板設置などをほぼ完了し、未着手箇所についても早急に対応する。

議員 住宅地の細い道を抜け道に使う人が多い。通学路の安全対策としての通学交通への対応について、所見を伺う。

都市整備部長 コミュニティ・ゾーンやあんしん歩行エリアの整備に取り組んできた。引き続き、交通管理者である三鷹警察署と連携して対応していく。

公共施設の利用者が快適に使用できる環境を



令和山桜会
吉沼 徳人 議員



議員 コミュニティ・センターにおいて、午前10時の開館と同時に利用する人が開館前から出入り口の外で待っている。熱中症を考慮

場しているという。引き続き、利用者の声を聞きながら、予約のオンライン化の工夫等について住民協議会と検討したい。

議員 総合スポーツセンターの利用者は市民センターの駐車場が無料になるのは最初の3時間のみだ。各種スポーツ大会の参加者については、主催者であっても駐車料金が発生してしまうことから、減免無料時間の拡大が必要だ。所見を伺う。

スポーツと文化部長 当該センターの開当初から課題の一つとして認識している。駐車料金の公平な減免の在り方について、元氣創造プラザ総点検の中で検討していきたい。

議員 公会堂北側Aゲート周辺に公会堂指定車両のスペースを見かける。市民セ

ンター駐車場の利用方法に記載はないが、どのようなことか。また、料金はどのようになっているのか。

市長 公会堂光のホールを利用する事業の主催者は利用時間帯は5台無料で利用できることとしている。施設利用の主催者にも案内している。利用方法には記載していない。

不安定な社会情勢における心のケアに努めよ



令和山桜会
伊東 光則 議員



議員 コロナ拡大や不安定な社会情勢の影響による児童・生徒の心の変化と心のケアの現状と課題を伺う。

教育長 様々な社会情勢による子どもたちの心の健康が心配される。見守りや定期的なアンケートの実施により、悩みを丁寧に把握し、スクールカウンセラーが面談を行うなど、組織的な対応を図っている。心の状況をうまく伝えられない子どもの把握と対応、また、困難な状況乗り越えて立ち直る力を身に付けさせることが課題と考える。

議員 コロナ拡大や不安定な社会情勢の影響による児童・生徒の心の変化と心のケアの現状と課題を伺う。

議員 エックの実施状況の現状と課題及びコロナ禍の影響について所見を伺う。



市民センター立体駐車場(右)と三鷹中央防災公園・元氣創造プラザ(左)

せ、管理職を中心職場環境の改善や職員への積極的支援による組織的な対策を進め、職員の心の健康の保持、増進に取り組む。

議員 関係者を約束していれば、どちらかが被災した際に一方が災害時支援を行うことができる。姉妹都市や友好市町村との災害時における取り決めの内容を伺う。

市長 姉妹都市の福島県矢吹町と兵庫県のたつの市とは大規模な災害に備え心援協定を締結しており、内容は復旧作業に必要な資機材の提供、職員の派遣等となっている。友好市町村とは災害時心援協定等の締結は行っていない。

議員 同様のことを教育長に伺う。

教育長 友好市町村の長野県川上村において川上郷自然の村を運営しており、職員も年に数回川上村を訪れ、村職員との交流や地域イベントに参加している。

議員 災害時における協力交流で関係性を深めたい。

市長 常に90%以上の受検率を確保しているが、令和3年度は高ストレス者の割合が例年を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあったと考える。適正な人員配置に留意を用い、高ストレス者の抑制に努めていきたい。

姉妹都市、友好市町村とよりよい関係を築け



令和山桜会
渥美 典尚 議員



議員 姉妹都市の福島県矢吹町とは年に数回の交流があるが、他の姉妹都市等との交流の実態は見えない。姉妹都市、友好市町村等との交流状況について伺う。

渉外部長 三鷹市管弦楽団による矢吹町への訪問演奏など自治体間だけでなく様々な団体においても交流を深めてきた。令和3年度は兵庫県のたつの市を訪問するなど、相互に機会を捉えて交流を行っている。

議員 同様のことを教育長に伺う。

教育長 友好市町村の長野県川上村において川上郷自然の村を運営しており、職員も年に数回川上村を訪れ、村職員との交流や地域イベントに参加している。

議員 災害時における協力交流で関係性を深めたい。

市長 常に90%以上の受検率を確保しているが、令和3年度は高ストレス者の割合が例年を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあったと考える。適正な人員配置に留意を用い、高ストレス者の抑制に努めていきたい。

議員 市職員の心のケアの現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

総務部調整担当部長 産業医、カウンセラー、保健師が職員の相談に応じて心の

け、管理職を中心職場環境の改善や職員への積極的支援による組織的な対策を進め、職員の心の健康の保持、増進に取り組む。

議員 関係者を約束していれば、どちらかが被災した際に一方が災害時支援を行うことができる。姉妹都市や友好市町村との災害時における取り決めの内容を伺う。

市長 姉妹都市の福島県矢吹町と兵庫県のたつの市とは大規模な災害に備え心援協定を締結しており、内容は復旧作業に必要な資機材の提供、職員の派遣等となっている。友好市町村とは災害時心援協定等の締結は行っていない。

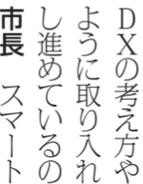
議員 同様のことを教育長に伺う。

教育長 友好市町村の長野県川上村において川上郷自然の村を運営しており、職員も年に数回川上村を訪れ、村職員との交流や地域イベントに参加している。

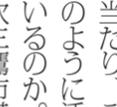
議員 災害時における協力交流で関係性を深めたい。

市長 常に90%以上の受検率を確保しているが、令和3年度は高ストレス者の割合が例年を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあったと考える。適正な人員配置に留意を用い、高ストレス者の抑制に努めていきたい。

地域コミュニティと自治会等の支援を



自由民主クラブ
石井 良司 議員



議員 本市の町会・自治会における課題等はますます膨らんできている。現状分析について所見を伺う。

市長 役員の高齢化、役割の固定化等に併い負担が増大し、加入率の減少と共に運営が厳しい町会・自治会等が多いと認識している。

議員 安心して住み続けられるまちづくりのために町会・自治会等の組織強化が必要だ。市が求める町会・自治会等の姿について伺う。

市長 地域の防災や環境問題等への取り組みの主体になることを期待している一方、少子高齢化等で多くの団体が担い手不足であることが大きな課題だ。

議員 まちづくりにおいて重要な町会・自治会等の担い手人材の発掘・育成について所見を伺う。

市長 新しいつながりやデジタル化の取り組み等への支援推進により、担い手の

画策定の核となる施策を前倒して研究していく。

議員 議案の検討や予算編成等におけるEBPM(証拠に基づいた政策立案)に基づき意思決定に当たり、デジタル技術をどのように活用し取り組んでいるのか。

画策定の核となる施策を前倒して研究していく。

議員 議案の検討や予算編成等におけるEBPM(証拠に基づいた政策立案)に基づき意思決定に当たり、デジタル技術をどのように活用し取り組んでいるのか。

企画部長 第4次三鷹市基本計画(第2次改定)の財政フレームの策定においてAIによるデータ分析ツールを活用してデータの相関関係と今後の伸びを分析し、反映した。

議員 本市の町会・自治会における課題等はますます膨らんできている。現状分析について所見を伺う。

市長 役員の高齢化、役割の固定化等に併い負担が増大し、加入率の減少と共に運営が厳しい町会・自治会等が多いと認識している。

議員 安心して住み続けられるまちづくりのために町会・自治会等の組織強化が必要だ。市が求める町会・自治会等の姿について伺う。

市長 地域の防災や環境問題等への取り組みの主体になることを期待している一方、少子高齢化等で多くの団体が担い手不足であることが大きな課題だ。



がんばる地域応援プロジェクト発表会の様子